



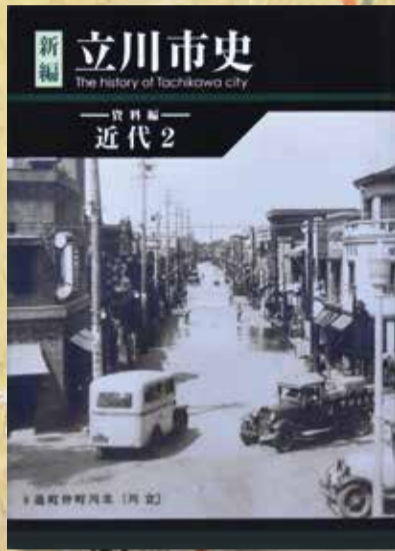
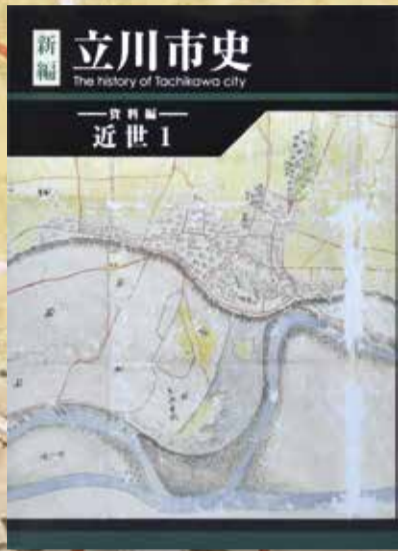
人口と世帯		●住民基本台帳記録数(前月比)	
人口	184,980	(+319)	
男	91,853	(+74)	
女	93,127	(+245)	
世帯	94,262	(+356)	

令和3年5月1日現在

立川を紐解く…

新編立川市史 資料編新刊のお知らせ

平成27年度から始まった新編立川市史編さん事業では、4月に新刊を出しました。市役所3階市政情報コーナー、歴史民俗資料館、オリオン書房ノルテ店、ジュンク堂書店立川高島屋店で頒布しています。
 〇地域文化課市史編さん係・内線4044



新編立川市史 資料編 近世1

B5判、カラー口絵16ページ、本文604ページ、上製本、頒布価格2,500円

江戸時代の柴崎地区に関わる古文書や絵図類を収録。冒頭の「この本を読まれる方へ」では、本書で取り扱う村の概要や古文書の特徴を分かりやすく説明しています。第一章には柴崎村の名主役を務めた鈴木家の文書を、第二章から第九章には柴崎村の旧家の文書や寺社の文書、市外文書を収録・解説しています。

新編立川市史 資料編 近代2

B5判、カラー口絵8ページ、本文580ページ、上製本、頒布価格2,500円

立川飛行場建設決定の大正10(1921)年から第二次世界大戦が終結する昭和20(1945)年までの資料を収録。立川に飛行場が建設された経緯や、飛行場周辺に軍事施設や軍需工場が集中し、「軍都」として立川市域が発展したこと、また、立川市域の空襲の状況を日米双方の資料で紹介しています。

新編立川市史 調査報告書 民俗・地誌編2 柴崎の口承文芸

A4判、122ページ、並製本、頒布価格600円

『資料編 柴崎の民俗』(令和2年4月発行)の調査の際に得られながら未収録となっていた「はなし」と「ことば」を収録。「はなし」には昔話や戦争の体験談などを土地の言葉そのままに、「ことば」には富士見町の一女性が伝える方言として1,300近い語彙や訛語(なまり)を収録しています。

既刊

資料編

- 古代・中世 頒布価格2,500円
- 現代1 頒布価格2,500円
- 柴崎の民俗 頒布価格2,500円
- 地図・絵図 頒布価格3,000円

調査報告書

- 先史編1 向郷遺跡 竹内勇貴氏寄贈資料調査報告書 頒布価格1,000円
- 民俗・地誌編1 砂川青年団資料集 頒布価格1,500円
- 近世編1 鈴木家文書目録 頒布価格1,000円

今後の刊行予定

『新編立川市史』は、今後、資料編6冊(先史、近世2、近代1、現代2、砂川の民俗、写真集)と調査報告書、それらをもとにした本編(通史上・下巻)や、別編4冊の刊行を予定しています。

《広告欄》

※広告に関するお問い合わせは…総合広告代理店 フレックス株式会社 ☎042(528)1611へ